

自己評価表

愛媛県立東予高等学校
学校番号(12)

教育方針	(1) 人格の調和のとれた、心豊かな人間を育成する。 (2) 創造性を身に付けた、主体的に行動できる人間を育成する。 (3) 時代の変化に対応し、社会の有為な形成者となる人間を育成する。	重点目標	「思いやりの心」を育み、「たくましく生きる力」を培う教育の推進
------	---	------	---------------------------------

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
学習指導	基本的生活習慣の充実	1日の欠席者5名以内の日 <u>80%</u> を目指します。 A:80%以上 B:75%以上 C:70%以上 D:65%以上 E:64%以下	D	全体で68.7%（昨年度70.2%）であった。2・3学期の欠席者が多かった。欠席することに抵抗感がなくなり、登校させる指導が難しくなっているため、目標値を達成できなかった。	すべての学校の活動において、欠席が続く生徒への積極的な声掛けをする。情報を共有しながら登校しやすい環境を全教職員でつくる。
		1か年皆勤の生徒 <u>50%</u> 以上を目指します。 A:50%以上 B:45%以上 C:40%以上 D:30%以上 E:29%以下	D	全体で30.3%（昨年度33.1%）であった。1年生が37.0%であったが、3年生は29.5%と低く、2年生が25.5%とかなり低かった。	皆勤を目標に頑張っている生徒も多くいるので、自分の進路実現に向けて、全校生徒に皆勤の大切さを意識付けながら皆勤率を上げていきたい。
	授業の充実	授業の内容がわかりやすく楽しいと感じる生徒の評価(100点満点換算)80点以上を目指します。 A:80点以上 B:70点以上 C:60点以上 D:50点以上 E:49点以下	A	全校で84.2点（昨年度79.8点）であった。1年生は86.3点、2年生は89.0点であったが、3年生は77.4点と低かった。	教科で個別最適な学びを研究・実践していく必要がある。さらなるICTの積極的な活用や、生徒の活動が増えるような授業展開などの工夫が必要である。3年間での継続的な学習に繋げたい。
生徒指導	態度教育の充実	大きな声で、1日10回挨拶のできる生徒を育てます。 A:10回以上 B:8回以上 C:6回以上 D:4回以上 E:3回以下	C	大きな声で挨拶する生徒が少ないと感じられるためC評価とした。集団に個が埋没してしまわないよう、今以上に、自己肯定感や自己有用感を育むことが必要である。	日々の教職員の生徒への挨拶、声かけ、励まし及び授業や行事等を通じた個と集団への働きかけなどの、発達支持的生徒指導の充実を図る。
		身だしなみ指導の合格率年間90%以上を目指します。 A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:60%以上 E:59%以下	C	今年度の合格率は70%台であった。自分さえよければそれでよいという自己中心的な考え方が強く、他の人の大切さを認める感覚が低くなっていた。	集団の場面で必要な指導や援助を行うガイダンスと、個々の生徒一人一人が抱える課題に個別に対応した指導を行うカウンセリングの双方により、規範意識に醸成を目指す。
進路指導	就職・進学指導の充実	生徒一人一人に応じた進路指導を行い、進路決定率100%を目指します。 A:100%(全員決定) B:未決定1人 C:未決定2人 D:未決定3～5人 E:未決定6人以上	A	今年度は、進路決定率100%を達成することができた。就職一次内定率は92%で昨年度(87%)と比べてよい結果となった。	人口減により進学も就職も合格はしやすくなった半面、先行きが見通せない時代の中での生徒に合った進路指導が求められる。

特 活 指 導	部活動・学校行事の充実	部活動加入率(全校)95%以上を目指します。 A:95%以上 B:90%以上 C:85%以上 D:80%以上 E:79%以下	C	部活動加入率86%。1年生100%、2年生73%、3年生86%となっており、上級生の加入率が低くなっている。	入学時に所属した部活動を退部した後、新たな活動へチャレンジできるよう部顧問と担任、学科長、学年主任が連携した事後指導を行っていききたい。
		県総体出場50名以上を目指します。 A:50人以上 B:40人以上 C:30人以上 D:20人以上 E:19人以下	C	昨年在7部56人だったのに対し、本年度は4部38人の県総体参加であった。	競技力の向上を目指し、計画的な活動の推進、外部資源の活用、環境の整備等を行っていききたい。
		東高祭&バラ観賞会での来校者800名以上を目指します。 A:700人以上 B:600人以上 C:500人以上 D:300人以上 E:299人以下	B	外部からの来校者は700名弱であった。準備期間が短く、文化的資源も乏しい中、生徒会が中心となって活動の幅を広げられた。	バラ観賞会と東高祭を分けて開催予定。東高祭は秋へ移動させ、企画・準備を充実させたい。
そ の 他	奉仕の精神の醸成	年2回以上の地域交流清掃活動や、環境整備活動を行い、奉仕の精神を養います。 合計で、A:4回以上 B:3回 C:2回 D:1回 E:0回	A	7月クリーン愛媛運動による市役所周辺の清掃作業、10月3年生地域奉仕活動、及び校内の除草作業を3回と計5回の奉仕活動を行った。奉仕の精神を養うことに寄与できた。	今年度と同様に地域の美化活動を積極的に行うだけではなく、普段の学校生活からできるだけごみを出さない、環境美化への気遣いができる生徒の育成を目指します。
	資格・検定取得指導の充実	ジュニアマイスター顕彰認定者50%以上を目指します。 A:50%以上 B:40%以上 C:30%以上 D:20%以上 E:19%以下	A	今年度のジュニアマイスター顕彰認定者数41名(53%)と数的に増加し、今後追加申請も予定している。特に高難易度の国家資格取得者も多数いる。	現状に満足することなく資格取得の奨励を積極的に行いながら、他の学習活動、部活動等への影響を踏まえて、指導内容の精選や工夫を行う。
業 務 改 善	適切な勤務時間	出退勤記録表の提出を確実にさせることにより、勤務時間を守る意識の向上を図るとともに、年休平均取得日数12日以上を目指します。 A:12日以上 B:11日以上 C:10日以上 D:9日以上 E:9日未満	A	出退勤記録表を確実に提出できるよう、関係者全員に促した。また、会議の開催が難しい際には書面開催とし、会議の定時終了もほぼ守られていた。年休平均取得日数は12日5時間30分となった。	引き続き、テレワークの積極的な活用を促すなど、働き方改革の意識を醸成させ、各教職員のキャリアステージに合った働き方ができるよう提案したい。
	職場環境の改善	職場環境に関する意見を集め、働きやすい職場になるよう環境整備に努めます。	B	学校環境衛生検査を実施し、絨毯の床等で陽性(ダニ)となり、薬剤駆除を実施した。	職場環境改善につながる備品・機器の購入・修復等について、教職員の声を吸上げ、より働きやすい職場環境整備に努める。

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。